

<p style="text-align: center;">電子情報システム設計Ⅱ (Electronics and Information System Design Ⅱ)</p>	<p style="text-align: center;">1 年・後期・2 単位・必修 電子情報工学専攻・担当 松尾 賢一</p>	
	<p style="text-align: center;">〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 B-2 (80%), D-2 (20%)</p>	<p style="text-align: center;">〔JABEE 基準〕 (d-1), (e), (h), (i)</p>
<p>〔講義の目的〕</p> <p>情報技術は、様々な形によって、人間社会の基盤形成に貢献している。このような技術は、人間の情報活動を支援することを目的として発展している。今日、新しい情報システムが次々とデザインされ、暗黙的に経験的知識が加わることによって、さらなるデザインが生み出されている。</p> <p>本講義では、前半で情報システムが社会でどう用いられて、どのような効果をあげ、貢献しているかについて概説する。後半は、情報システムがどのような流れで開発されているかの仕組みと開発で必要となるプロジェクトマネジメントの一端について講義する。</p>		
<p>〔講義の概要〕</p> <p>以下の内容が理解できるよう講義を進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報システムの概念についての理解 2. 社会と情報システムの関係についての理解 3. 情報システムが社会に与える影響と効果 4. 基本的なシステム設計のプロセスに関する理解 		
<p>〔履修上の留意点〕</p> <p>情報システムに関するレポートの作成とプレゼン、ならびに、講義内容の確認テストを実施するので、ノートの内容をしっかりと理解すること。</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <p>(確認テストⅠ) 情報システムが社会に及ぼしている影響や利用方法を理解する。 (確認テストⅡ) システムの基本的設計方法を身に付けるとともに、設計に必要なマネジメント方法を理解する。</p>		
<p>〔自己学習〕</p> <p>目標を達成するために、授業時間以外にも予習復習を怠らないようにすること。 また、授業内容の確認テストに向けた勉強や発表会の準備にしっかり時間をかけること。</p>		
<p>〔評価方法〕</p> <p>成績は、レポート点と確認テスト(100点満点)の平均による評価(70%), プレゼンでの質疑応答(30%)で評価する。</p>		
<p>〔教科書〕</p> <p>なし</p> <p>〔補助教材・参考書〕</p> <p>適宜配布する ホームページ参照 (http://www.info.nara-k.ac.jp/~matsuo/JYUGYO/EI_SYSTEM/ei_system.html)</p>		
<p>〔関連科目〕</p> <p>関連科目としては、電子情報システムⅠ, メディアシステム論, 基盤システム学, があげられる。</p>		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己 評価*
第 1 週	情報システムとは	一般的な情報の概念と情報システムとは何かを理解させる。	
第 2 週	情報システム概論 I	情報社会と情報システムの関係について理解させる。	
第 3 週	情報システム概論 II	世の中で定義づけされている〇〇情報システム等に関する知識を理解させる。	
第 4 週	情報の集約, 蓄積方法	情報を如何に収集し, その情報に選別や意味づけを経て, 知識化するためのプロセスについて理解させる。	
第 5 週	企業の情報システム	企業で用いられる情報システムについて理解させる。	
第 6 週	I T 経営	I T を用いた経営の必要性和そのメリットについて理解させる。	
第 7 週	企業経営と情報システム	企業経営をする上で情報システムが果たす役割について理解させる。	
第 8 週	情報戦略	情報を活用した企業戦略の推進方法について理解させる。	
第 9 週	競争戦略	市場競争で勝ち抜くための戦略分析方法について理解させる。	
第 10 週	理解度確認	これまでの内容の理解度を確認する。	
第 11 週	経営資源	資源管理について理解させる	
第 12 週	プレゼン発表会	世の中で使用されている情報システムの役割と効果について発表させ, プレゼン内容に対する相互評価と質疑を実施する。	
第 13 週	プロジェクトの流れ	システムの設計におけるプロジェクトの流れについて理解させる	
第 14 週	成果物の流れ	システムの設計における成果物の流れについて理解させる	
第 15 週	情報の流れ	システムの設計における情報の流れについて理解させる	

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった。
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)